



『人類に奉仕するロータリー』 Rotary Serving Humanity

RI会長 ジョン・ジャーム 第2590地区ガバナー 高良 明

川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2016~2017

会長・戸張 裕康 幹事・都倉八重子 会場監督・江口 進 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1・第3木曜日 PM12:30~ 第2・第4木曜日 AM7:30~ TEL:044-711-8855

第1373回 (本年度11回)

平成28年9月29日(木)

夜間移動例会・(於)鈴や 武蔵中原店

点 鐘 戸張 裕康 会長

司 会 工藤 和弘 会場監督

唱 和 「四つのテスト」

お客様紹介 戸張 裕康 会長

- ◆ 石塚 勝 様 (第2590地区第2GAG)
- ◆ 小林 美和 様 (川崎北RC)
- ◆ 富岡 昭一 様 (川崎中RC 会長)
- ◆ 宇田 章二 様 (川崎中RC)
- ◆ 小嶋 喜芳 様 (川崎鷺沼RC 会長)
- ◆ 香田大志郎 様 ()
- ◆ 宗澤 文良 様 (川崎とどろきRC 会長)
- ◆ 井上 隼 様 (川崎とどろきRC)
- ◆ 石塚 陽子 様 ()
- ◆ 蟹江 修礼 様 (戸張会員ゲスト)
- ◆ 井上 英一 様 ()
- ◆ 後藤 由香 様 ()
- ◆ 堤 研司 様 (古越会員ゲスト)
- ◆ 丁 中斐 君 (米山奨学生)
- ◆ 都倉 直子 様 (ROTEX)

会員出席報告 高瀬 建夫 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	26名	18名	8名	81.82%
前々回(9月8日)	欠席7名	Make up 2名		91.30%

欠席者: 東出会員、今井会員、高木会員、小林会員

ニコニコ報告 高瀬 建夫 親睦委員

- ◆ 石塚 勝 様 (第2590地区第2GAG 川崎鷺沼RC)
本日はお招き頂き大変ありがとうございます。
- ◆ 富岡 昭一 様 (川崎中RC 会長)
お世話になります。

◆ 宗澤 文良 様 (川崎とどろきRC 会長)
夜間移動例会お世話になります。

◆ 井上 隼 様 (川崎とどろきRC)

本日はお世話になります。中原RCの例会、私にとって貴重な機会になりますので勉強させていただきます。

◆ 石塚 陽子 様 (川崎とどろきRC)

川崎とどろきRCから参りました石塚陽子です。今日のメイクアップツアーを楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。

◆ 戸張 裕康 会長 都倉八重子 幹事

今日は第5週目で夜間例会です。石塚AGと6クラブの協力のもと、各クラブの行き来が多くなれば良いですネ。また、ゲストも多く来て頂きました。有難うございます。

◆ 古越 孝男 会員

短い間でしたが、大変お世話になりました。後任の堤君を宜しくお願ひします。

◆ 親睦委員会一同

皆さん今晚は、今日は今年度1回目のそして3ヶ月ぶりの夜間例会です。AGの石塚さんをはじめ大勢の皆さんの参加を頂き感謝申し上げます。初めてお会いする方もいらっしゃると思いますが、今宵は思いっきり懇親をして頂き楽しんでいってください。

◆ SSA一同

雨の日が多いです。9月の日照時間は例年の20%ほどのことです。皆様におかれましては天気負けずご自愛下さるようお願い申し上げます。

◆ 「みんなニコニコ」

来訪された皆様に感謝して!!!

ニコニコボックス	本日	26,000円	累計	229,000円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	25,000円

会長報告 戸張 裕康 会長 (9月29日)

1. 理事会報告

2. 地区からの来信

①10月のロータリーレートは、1ドル=102円 (9月から変更なし)との連絡が届いております。

3. 横浜東RACより、例会のご案内が届いております。

10月30日(日) 14:00-16:30

本牧三溪園茶室「月華殿」

横濱茶館館長の乾 宗實先生をお呼びして 秋の茶会開催 登録料: 4,000円 10/20 締切

4. 他クラブ例会臨時変更

●川崎百合丘 RC

10月4日⇒5日(水) 地区大会記念チャリティイベント

10月18日(火) 夜間例会 点鐘 18:00

11月15日(火) 休会

●川崎鷺沼 RC

10月12日⇒16日(日) 宮前区民祭参加 11:00~

移動例会: 茶寮「遊句」 点鐘 12:00

10月26日(水) 移動例会 職場見学 9:00~

横浜海上保安部・キリンビール横浜工場

●川崎西北 RC

10月20日⇒18日(火) 地区大会ゴルフ大会移動例会

11月3日(木・祝) 休会

11月10日⇒12日(土) 地区大会参加

5. 他クラブ会報の回覧 本日はございません。

6. 次週 10月13日(木) は、定例早朝例会です。

ホテル精養軒にて、点鐘 7:30

当日は、30周年へ向けての打合せを行いますので、例会時間が延長される可能性があります。

お食事は、原則 例会前 7:00~とさせていただきます。 ご協力お願いいたします。

卓 話 テイ チュウヒ クン 丁 中斐 君 (米山奨学生)

皆様、こんばんは。夜間例会参加させて頂いてありがとうございます。今回、二年目というテーマを頂いたのですが、何を話すかなと結構悩みました。



まず、自分の研究テーマについてお話したいと思います。私の研究テーマは上海方言を母語とする日本語学習者の母音の無声化についてです。

母音の無声化とはなに?についてはまたのちほど説明致します。

まず研究の背景についてお話しします。何か身に付けた能力が、他のことに利用されたり、影響したりすることを転移といいます。転倒の転に移動の移です。学習者の母語の知識によって習得が促進される場合は正の転移と呼ばれます。例えば、中国人の学習者は漢字に強い。熟語の読み方こそわからない場合が多いですが、意味は大体わかります。逆に、母語の知識がマイナスに働いてしまう場合は「負の転移」と呼ばれます。例えば、「新聞」のことを「ニュース」と勘違いする学習者は多く言います。そうしたら、たまに就職の面接でこのような会話が見られます。面接官「普段新聞を見ますか?」「はい!毎日見えます!」「どの新聞を見ていますか?」「主にネットで新聞を読んでいます!」「え?」このように負の転移によって、母語の知識がマイナスに働いてしまいます。学習者の母語からの正の転移を最大限に発揮させ、負の転移を最小限に抑えるのが理想です。学習者が日本語を習得する際も同じです。第二言語習得において、母語の影響が最も顕

著に現れる分野が音声、音韻だと言われています。要するに中国人は中国人の癖があり、韓国人には韓国人の癖があって、発音訓練を積んでも日本人みたいな発音はなかなかできないです。音声の評価方法として、単音の発音、あいうえおなど、私の場合はな行とら行の発音が難しいです。「ばらら」を言うほどひどくないですけど、間違えます。アクセント、イントネーション、リズムなど様々な要素が考えられます。その中日本語に見られる母音の無声化現象も「日本語らしい音声」の要素の一つだと考えられます。母音は本来声帯振動を伴う有声音ですが、特定の環境では声帯の振動を伴わない無声音のように発音されることがあります。よく例として挙げられるのは「あしたのし、あしたとは言わないです。くつにく、くつとは言わない。何々ですなにますのすなどなど。」また関西などはアクセントも違うので、無声化はあまりしないです。(適当に例を入れる)

日本語の母音の無声化の研究には、日本語母語話者を対象とした研究は数多く見られますが、学習者を対象とした研究はそう多くはないです。近年、母音の無声化の習得が自然な日本語の発音と関係していることを挙げ、音声教育の中での母音の無声化の重要性を訴える研究者もいます。

私のテーマは上海方言と日本語の対照研究なので、上海方言の文献を調べました。結局、1990年代香港大学の先生が書いた論文1本しかありません。中国の国のProjectで上海方言を細かく調べたこのような文献にも母音の無声化についてなにも書かれてなかったです。上海方言に関しては、先行研究に頼れないので、ほぼ自分から実験し、分析、まとめなければならないのです。

実験方法は日本語の文献を参考にして、やりましたが、実験対象語の選択や、まとめなどの作業が膨大で、すごく時間を使います。去年の報告の時にも言ったように私の家庭は裕福ではないので、今までは学費も生活費もアルバイトで賄わないと行けませんでした。本当に修士に入ってから、奨学金を頂いて、こちらの研究ができるようになりました。奨学金の支援なしには、今頃大学院をやめているのか、3年目を覚悟するのかどちらかしかないと思います。本当にありがとうございます御座います。

そして、具体的内容は専門用語が多くて、説明すると時間もかかりますので、今回は省略させていただきます。結果、1年半の時間を描けて、上海方言の無声化のルールについて初歩的に解明いたしました。先行研究とかなり異なる視点で無声化現象を見ることができて、更に上海方言を母語とする日本語学習者の日本語を分析して、仮説を立てました。学習者の日本語に関してはまだ研究を進めないとわかりませんが…

9月に、こちらの研究成果を日本語教育学会が主催するBARI ICJLE2016で発表いたしました。そうですね、今月の7日~13日まで、4泊7日でバリに行ってきました。会場でたくさんの先生方とお話できて、自分の研究についてはたくさん厳しい指摘と意見もいただきました。自分の研究を高く評価してくださる先生方もいま

す。とても有意義な学会参加になりました。海外発表はお金もかかりますので、本当に奨学金の支援なしにはとても参加できないと思います。本当に本当にありがたいと思っています。

ロータリーといえば、社会奉仕です。最初米山奨学生に選ばれたとき、初めて鈴木さんにあつたときに、鈴木さんにこう言われました。2年間の時間でしっかりロータリー精神を勉強してねと。私も奨学金を頂いたお陰で、できたお金と時間の余裕を何かしたいと思い、なにを通じて何か観光客を増やしたり、地域の活性化に貢献できればとおもって大学教授の Project に参加することにしました。本当はプロジェクターなどがあれば、直接お見せしたいですが、条件の制限でちょっとできないなので、口頭で簡単に紹介させて頂きたいと思っています。

私が参加している Project は沖縄民俗遺産研究所が作った沖縄の美味しい情報サイトの作成です。私は中国語ページの作成に携わっています。沖縄民俗遺産研究所とはなにか。ちょっとホームページの一部を読み上げます。21世紀を迎え、食をはじめとする沖縄の伝統文化は大きく進化しています。私たちは、この進化する沖縄の魅力を東アジアに情報発信するために<沖縄民俗遺産研究所>を立ち上げました。本研究所は、日本学術振興会の科学研究費助成事業の基盤研究(C)の研究プロジェクト「沖縄民俗遺産の継承と新しい観光力の育成と情報発信」によって運営されています。

このサイトは以下のようなものが紹介されています。しま野菜レシピ、名前通り、当地野菜を使ったレシピの紹介です。中には関東や関西ではあまり作らないようなレシピも紹介されています。

そして、ファーマーズマーケットの紹介です、私はこのような形式のマーケットを見たことないので、結構新鮮でした。知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、一応サイトの紹介を一部読み上げます。

21世紀に入って、野菜の流通は大きく変化しました。JAだけではなく民間のマーケットも、コンピュータによる商品管理を進化させたために、生産者が少量・多品目の野菜や果物をはじめとする様々な商品を手軽に納品し、自分で価格を決めることができるようになりました。たとえば、ファーマーズマーケットのコンピュータにキャベツ10個を出品する時には、キャベツの商品コードと数量と価格を自分で入力すると、バーコードのついたラベルが10枚出力されます。これを野菜に貼り付けて、自分で棚にならべればよいのです。売り上げの結果は随時ケータイに報告されるので便利です。このシステムは、JAや大手のスーパーでも採用されはじめています。 だそうです。

その他に農園の野菜づくりというコーナーもあります。定期的にレポートが更新されます。沖縄の塩マースの歴史や昔ながらの作り方もこちらのサイトで詳しく紹介されています。

一番の目玉は泡盛の現在というコーナーです。お酒

好きなら絶対行くべき泡盛の聖地の紹介や、泡盛の発展歴史にまつわる知識なども書かれています。泡盛レポート002には「泡盛を作ってみました」というタイトルで、実際研究員が泡盛の工場に行き、米から泡盛づくりを体験しました。その様子を写真に納め、このレポートにしたという。

中国語のページには日本語のページにない「泡盛百科」があります。泡盛資料館の館長に許可を取って、その資料館の本を一部翻訳して、サイトに載せました。最近更新された内容は「什么是泡盛、黒酒曲菌的秘密、古酒的制造方法、蒸馏的技术和原料米、异国人眼中的泡盛」など。このようにして、観光客に沖縄の魅力を知ってもらい、泡盛のファン日本のファンにもなってくれないかなあと頑張ってしています。

最後に、去年も少しお話をしたと思います。留学生のカルチャーショック、日本人と中国人の間の誤解を解消すべく、学校の国際交流事務課、学校の上級日本語クラス、留学生就職支援団体、市役所の日本語クラスなどのところでスピーカーとして、留学生の先輩として、いろんなことについて話しています。

留学生は、海外に住むと、さまざまなカルチャー ショックを身をもって感じる。最初は見るもの全てが新しく興味深く、楽しいが、次第に嫌なことが目につき、母国と比べ始め、全てが嫌になることもある。その後、落ち着くと、そこでやっと新しい国に根を下ろすことになる。従って、日本人が、カルチャーショックと戦っている留学生を含めた外国人の不思議な行動に遭遇し、違和感を抱くでしょう。

去年もこれについて少し話したと思うのですが、今回はその理由を少し考えました。例えばAさんが課題を完成しませんでした、先生に怒られました。「今日提出すると言いましたよね、なんでやってこなかったんですか?」「時間がなかったからです。忙しかったからです。」と言ってしまいます。6年前の私ならこれと似たようなことを言ったでしょう。なぜなら、大多数の中国人からすれば、これは質問です。目上の人の質問に対して、答えなければそれこそ失礼だと。

中国語の感覚で考えると、確かにすみませんとか言ったら、これこそ舐めているということです。

そこでちょっとした調査をしました。先生に「今日提出すると言いましたよね、なんでやってこなかったんですか?」と言われてたら、どう返すか。そしていま怒られたってわかりましたか?を中国人留学生、中国にいる中国人(来日経験なし)、日本人10人に聞きました。

中国人留学生は10人中5人が理由だけを述べる。3人が理由を述べてから、すみませんを言う。1人がすみませんだけ、1人がすみません+理由、8人が自覚はある。

ここでは便利上ただの中国人と呼ばさせて頂きます。7人が理由を述べるだけ、2人が黙りこむ、1人が理由を言うからすみませんをいう。5人が自覚ある日本人の場合、6人すみません、4人すみませんを言っ

てから理由を述べる。全員、それは怒られているでしょう！

自分の失敗（居酒屋での話）包丁をああいふうに置くなと言わなかった？ いえ、言いました！

雑巾をここで洗うなって言ったでしょう？

はい！いいました！

お前、俺のことをなめているのか？

いえ、舐めていません、なんで？

仕事は認められましたが、言い訳が多いとよく言われました。本当にわからなかった。

同じ言い方なら、静かに怒るのがわかりにくい。

（丁さんが子供の頃日本をどの様に観ていたか？）私子供の頃は、中国では反日教育が盛んに行われていました。今思えばあれは酷いものでした。学校では、反日の映画を見ることを授業の一環として取り入れていました。国語のテキストにも反日の内容を盛り込んでいました。その時は日本大嫌いでしたね。

（学校教育や中国社会の動きと共に、日本を観る目がどのように変化したか？）

その反面、私は運の良い世代でもあります。中国では1980年代以降、日本からさまざまなアニメ番組が輸入され、多くの子供たちに親しまれてきた。例えば一休さん、ちびまる子ちゃん、北斗の拳、セイントセイヤ、サムライハートなどなど。僕が中学生頃の話ですね。インターネットが中国で本当の意味で普及したのは私が高校生頃の時です。2003年くらいですかね。中国ではインターネットの規制が厳しいですけど、それでもインターネットを通じて、少し客観的に日本を見ることができました。日本に親しみをもちはじめたのは2008年くらいで、主にインターネットで「日本伝説とドイツ伝説」と呼ばれるものです。これも日本語を勉強するきっかけの一つになりました。

【プログラムの予定】

10月13日(木)	H精養軒	12:30~13:30
早朝例会	30周年事業に関するミーティング	
10月20日(木)	H精養軒	7:30~8:30
	クラブフォーラム：社会奉仕	
10月27日(木)	休会	
11月3日(木)	休会(祝日)	

【ロータリー・ミニミニ情報 No5】

日本の常識は世界の非常識 No1

1. 第一例会には国歌を歌う。例会場には国旗を掲げる。戦争中、ロータリーは発祥の地がアメリカであることから、ロータリーはアメリカのスパイではないかと嫌疑をかけられたり、フリーメーソンの組織だという疑いをかけられました。その疑いを晴らすために、国に対して忠誠を誓うことを証明する意味で、例会で国歌を歌い、それが習慣化したものです。当時は、毎例会

に特高が来て、サーベルをがちやつかせながら例会を監視したそうです。国旗も同様な理由で掲揚され、今日に至っております。アメリカ以外の外国では、殆どの国では、国旗を掲揚したり、国歌を斉唱するといった習慣はありません。アメリカは移民の集まりなので、アメリカ人であるという自覚を持たせるために、国旗掲揚と国歌斉唱が盛んです。

2. 例会ではロータリーソングを歌う

初期のシカゴ・クラブは会員同士の親睦と物質的相互扶助が盛んに行われていましたが、1907年にポール・ハリスは対社会的奉仕と拡大に活動方針を転換しました。さらに1908年に入会したアーサー・シェルドンは奉仕の必要性を強調したために、シカゴ・クラブは親睦・互惠派と奉仕・拡大派に分かれて、毎例会は激論の場と化しました。その刺々しい雰囲気や和らげるためにハリー・ラグルスが始めたのが、歌を歌うという習慣です。最初の頃は「Smiles」とか「My Hero」などの大衆的な歌が好んで歌われました。

日本では、例会や各種の会合が始まる前や閉会する前に、儀礼的にロータリーソングが歌われますが、本来はそのような歌い方をするのではなく、どんなタイミングで、どんな歌を歌おうと一向に構わないわけです。

3. 100%の出席率を目指す

日本の例会場には、ほぼ会員数に見合ったテーブルと椅子が用意されていますが、アメリカの大都会では必ずしもそうではありません。私はよく、マンハッタンにあるニューヨーク・クラブにメイクアップに行きますが、会員数200名のこのクラブの例会場には、幾ら数え直しても100脚ほどしか椅子が用意されていません。ゲストは通常10名程度で、殆どは外国のロータリアンで、近郊からメイクアップするロータリアンの姿を見ることは稀です。マンハッタンにはもう一つ、アッパー・マンハッタン・クラブがありますが、このクラブは黒人中心のクラブで、白人が行くことはほとんどありません。ニューヨーク近郊には小さなクラブが数多くありますが、これらのクラブにメイクアップする、近隣クラブのロータリアンの数はごく僅かです。この傾向は、シアトル、ロスアンゼルスといった大都会でもまったく同様です。すなわちアメリカの大都会のクラブでは、例会に出席する会員は半数くらいしかなく、例会を欠席してもほとんどメイクアップをする人はいないのです。ロータリーの出席規定を厳格に適用したら、半分くらいの方は退会を余儀なくされるのが、現在のアメリカの状況です。会員数が半減していないことは、出席規定が完全に空文化していることを意味しているのです。従って、クラブや個人が連続出席100%を目指して努力する日本の姿は、彼らの目にはクレージーとしか写らないでしょう。（源流の会：炉辺談話より）

【過ぎし時に敬意を表して：ポール・ハリス語録 9】

「微笑みにお金はいりません。ですが、人生の小道を素晴らしく輝かせてくれます」（ロータリアン誌、1915年11月号）

9月29日写真集





近隣クラブより多くのご参加をいただき
懇親を深める楽しい例会となりました。
お越し頂き、ありがとうございました。